

令和2年度 登別市立西陵中学校の概要

学校名	登別市立西陵中学校	住 所	登別市片倉町5丁目12番地1
学級数	7(2)学級	電 話	0143-85-5041
創 立	昭和49年4月1日	交通機関	JR幌別駅より1.7km
校 長	瀧澤 義守	E-mail	js.info@noboribetsu.ed.jp

学級編成 (令和2年4月1日現在)

学 年		1	2	3	特別支援学級	
生徒数	男	24	27	23	2	76
	女	21	17	16	0	54
計		45	44	39	2	130
学 級 数		2	2	1	2	7

教職員数

校長	教頭	教諭		講師	養護教諭	事務職員	公務補	学習支援 補助員	心の教室 相談員	合計
		男	女							
1	1	8	2	1	1	1	2	1	1	19

校 名 昭和49年1月制定

「西陵」とは西方の幌別ダムに裾野を浸し、そびえ立つカムイヌプリの山並みを指すものである。雲をしのいでそびえる西陵カムイを日々仰ぎ見て、厳しく自分を磨き、鍛えて、より高い見識、より良い人格の形成を目指し、さらに事に臨んで気はつらつと勇気を持って処するという生活態度を養い学ぶ者の理想を求めて、この校名を制定したものです。

制定者 蛭 名 ゆかり

校 章 昭和49年1月制定



「西陵」という校名を円で囲んでいます。調和の取れた円満な人格を育てる願いが込められています。四枚の葉は生命の源泉を示し、生命尊重の精神を教育の基本とすることを表しています。四本のペン、福沢諭吉の逸話から「ペンが剣より強し」と門下生に説いた学問尊重の精神を示し、真理を追究し人間性の向上を求めてやまない向上心を示し、四葉、四本ペンであらゆるものから学びとる意欲のたくましさを表している。

制定者 小 堀 昭 子

西陵中学校校歌

一

太平洋の黒潮と

カムの峰を望みつつ

白亜の殿堂学び舎に

昇る朝日を心とし

学を修めて身を鍛え

若きいぶきのたくましく

友とあわさんこの力

噴煙はるか天をつく

コタンの歴史今うたた

清流来馬に育まれ

北斗の星を仰ぎつつ

愛と誠をひとすじに

進まんわれらはてしなく

未来の夢ぞ大きける

千古の蝦夷を拓きたる

父祖の残せし伝統と

オロフレよりもはるかなる

高き理想を目指しつつ

学びの道を究めんと

永久に歩まんその日まで

われらが西陵中学校

作詞 佐藤紀彦
作曲 阿相洋

